

# 愛知県公文書館年報

第37号

2023年度





# 目 次

## I 愛知県公文書館の概要

1	目 的	1
2	沿 革	1
3	組 織	3
4	業務内容	3
5	予算額の推移	3
6	施設の概要	4
7	所蔵状況	5

## II 愛知県公文書館の業務

1	公文書等の収集・整理	7
	(1) 公文書	7
	(2) 刊行物等	7
	(3) 古文書等	7
	(4) 旧公印	7
	(5) 県史収集資料	7
2	公文書等の保存	8
	(1) くん蒸・配架	8
	(2) 複製物の作成	8
	(3) 資料の修復・保護	8
3	利用状況	8
4	所蔵資料の展示	10
5	調査・研究	10
6	機関誌の発行	11
7	『愛知県史』等の販売	11
8	その他	11
	(1) 所蔵資料検索システム	11
	(2) デジタルデータ閲覧サービス	11
	(3) バーチャル文書館	11

# I 愛知県公文書館の概要

## 1 目的

県の諸活動や歴史的事実を記録した公文書は、県民共有の知的資源であるとともに、県政が適正かつ効率的に運営されるよう、その歩みを後世に伝える貴重な歴史的資源である。

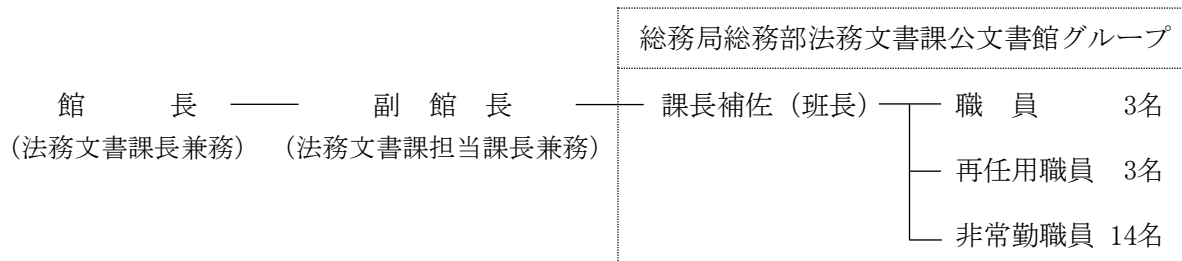
愛知県公文書館は、そうした歴史的価値のある県の公文書その他資料を収集し、整理し、及び保存するとともに、その活用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

## 2 沿革

- 1979. 1. 22 県及び県議会に対し「公文書保存について」要望（愛知県の歴史資料保存をすすめる会代表 塩澤君夫氏）
- 9. 26 県議会に対し「公文書保存体制確立について」請願（愛知県の歴史資料保存をすすめる会会員 結城陸郎氏ほか16名）
- 10. 22 9月定例県議会において、上記請願を全会一致で採択
- 1980. 3. 10 公文書館設立に係る諸課題を調査研究するため、総務部文書課に「公文書館問題研究班」を設置
- 10. 17 「公文書館問題研究班」が「公文書館問題調査報告書」を作成
- 1981. 4. 13 「歴史的資料としての公文書の保存制度（公文書館制度）の試行的発足に伴う保管文書等の取扱いについて」依命通達
- 4. 17 県民有識者参加のもとに「県立公文書館構想懇談会」を設置
- 12. 21 「県立公文書館構想懇談会」の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の基本的な構想について」の意見書を提出
- 1982. 5. 31 県民有識者参加のもとに「県立公文書館運営問題検討会議」を設置
- 1983. 4 国立史料館（当時）、水産資料館（当時）所蔵資料のマイクロフィルム化に着手（水産資料館分は年度内に事業完了）
- 10. 27 「県立公文書館運営問題検討会議」の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の運営に関する意見」を提出
- 1984. 4 国立公文書館内閣文庫所蔵資料のマイクロフィルム購入、併せて国立史料館、水産資料館、国立公文書館内閣文庫所蔵資料の複製本化に着手（水産資料館、国立公文書館内閣文庫分は年度内に事業完了）
- 1985. 4 財団法人徳川黎明会（当時）徳川林政史研究所所蔵資料のマイクロフィルム化に着手
- 1986. 2. 19 愛知県自治センター竣工
- 3. 24 「愛知県公文書館条例」を議決（3月26日公布、7月1日施行）
- 4 財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料の複製本化に着手
- 6. 25 「愛知県公文書館規則」公布（7月1日施行）
- 6. 30 公文書館開館式典を挙げる
- 7. 1 公文書館開館（初代館長 藤原恂二）

1987. 12. 15 「公文書館法」公布（1988年6月1日施行）
1988. 4. 1 行政委員会等文書の収集開始
1989. 2 国立史料館、財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料のマイクロフィルム化完了
- 4 本館所蔵公文書・行政刊行物のマイクロフィルム化に着手
1990. 3 国立史料館、財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料の複製本化完了
4. 1 公文書館資料課の分掌事務に「県史編さんに関すること」を追加（愛知県行政組織規則の一部改正）
10. 31 「愛知県史資料編さんに関する検討会」を設置
1991. 9. 20 「愛知県史資料編さんに関する検討会」の座長が総務部長に「愛知県史資料編さんに関する報告書」を提出
1992. 6. 15 「愛知県史資料懇談会」を設置
11. 12 「第18回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会」を開催（11月12日・13日）（全史料協・愛知県主催）
1993. 3. 10 「愛知県史資料懇談会」の会長が知事に「愛知県史資料の調査収集及び県史の編さんについて検討結果報告書」を提出
7. 16 「愛知県史編さん準備会議（全体会議）」を開催
1994. 4. 1 県史編さん事務が総務部文書課の事務となる  
県史編さん事業を開始
1997. 12. 1 『愛知県公文書館だより』創刊
1999. 1 公文書館Webサイト開設
4. 1 総務部文書課の直接管理となる  
館長は文書課長の兼務、副館長は文書課主幹の兼務となる
2000. 4. 1 部制再編に伴い総務部総務課所管となる  
館長は調整監兼総務課長の兼務、副館長は総務課主幹の兼務となる
2002. 4. 1 職制の見直しに伴い館長は総務部総務課長の兼務となる
2004. 3. 22 「所蔵資料検索システム」稼働
4. 1 「総合文書管理システム公文書館サブシステム」稼働
2006. 4. 1 本庁組織の見直しに伴い総務部法務文書課所管となる  
館長は法務文書課長の兼務、副館長は法務文書課主幹の兼務となる
2019. 4. 1 本庁組織の見直しに伴い総務局総務部法務文書課所管となる
2020. 3. 13 『愛知県史』全58巻の刊行が完了
2020. 3. 27 公文書館Webサイトをリニューアル、「バーチャル文書館」を開設
2020. 4. 1 新「所蔵資料検索システム」稼働  
職名変更により副館長は法務文書課担当課長の兼務となる  
県史編さん事業の完了に伴い県史収集資料が公文書館に引き継がれる
2020. 12. 23 県史収集資料の公開開始

### 3 組織



### 4 業務内容

- (1) 公文書等を収集し、整理し、及び保存すること。
- (2) 公文書等を利用させること。
- (3) 公文書等を展示すること。
- (4) 公文書等に関する調査研究を行うこと。

### 5 予算額の推移

#### 年度別当初予算額

(単位：千円)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度
管理運営費	3,211 (1,199)	3,204 (1,180)	2,996 (999)
文書整理費	5,843 (4,873)	5,916 (4,892)	6,013 (4,946)
公文書館情報発信機能強化事業費	1,391 (1,391)	1,515 (1,515)	1,366 (1,366)
計	10,445 (7,463)	10,635 (7,587)	10,375 (7,311)

※ ( ) 内は、予算総額のうち事業費の額である。

## 6 施設の概要

### (1) 場 所

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号 愛知県自治センター7・8階

### (2) 施設面積

2,166.12㎡

書庫	1,027.29㎡
開架室	201.80㎡
閲覧室	254.46㎡
閲覧和室	31.02㎡
展示室	112.80㎡
事務室、整理室等	538.75㎡

### (3) ハロンガス消火設備

書庫、整理室Ⅱ・Ⅲ、保管室、マイクロ保管庫

### (4) 床荷重補強

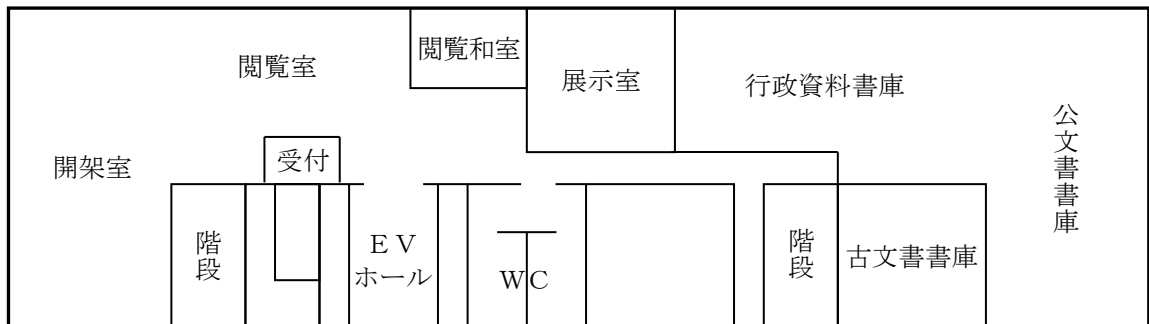
書庫部分 最高 1,200kg/㎡

### (5) 資料の収蔵能力

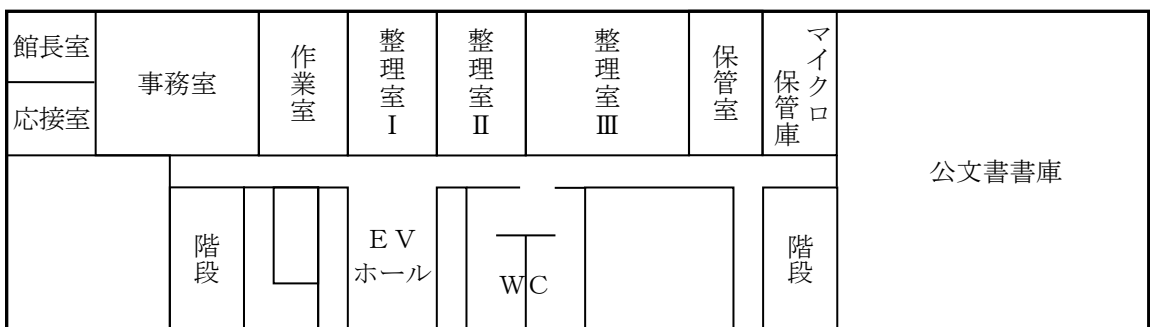
約31万冊（書架延長14.4km）

### (6) 公文書館の平面図

7階



8階



## 7 所蔵状況

(単位：冊・巻・点)

資料区分		開館時 (1986年)	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末
公文書	原本	28,429	74,798	74,828	74,251	74,317
	複製本	1,116	6,870	6,870	6,870	6,870
	マイクロフィルム	2,567	9,767	9,767	9,767	9,767
	計	32,112	91,435	91,465	90,888	90,954
刊行物等	原本	5,474	84,861	85,668	86,449	87,146
	複製本	0	20	20	20	20
	マイクロフィルム	0	3,293	3,114	3,114	3,114
	計	5,474	88,174	88,802	89,583	90,280
古文書等	原本	0	4,518	4,563	4,563	4,614
	複製本	0	28	28	28	28
	マイクロフィルム	0	90	90	90	90
	計	0	4,636	4,681	4,681	4,732
旧公印		0	362	386	390	393
県史収集資料	文書	0	0	48,343	66,765	80,953
	写真	0	0	2,044	2,061	2,061
	計	0	0	50,387	68,826	83,014
合計		37,586	184,607	235,721	254,368	269,373

※ 公文書には、地籍図・地籍帳、愛知県庁文書、名古屋藩庁文書、郡役所文書等を含む。

### (参考) デジタルデータ化済み資料

実施年度	資料名	数量(冊・点・枚)	保存媒体
2002年度	地籍帳	2,424	CD-ROM
2003年度	藩庁文書・県庁文書等	923	CD-ROM
2004年度	地籍図	2,208	DVD
2011年度	伊勢湾台風被害写真	2,034	DVD

※ 他に、古文書等2,882点、県史収集資料51,149点(文書49,088点、写真2,061点)のデジタルデータを公開済み



## 特色ある所蔵資料

資料区分	内 容	公開冊数
名古屋藩庁文書 (幕末～明治4年)	明治初期における名古屋藩が作成・管理していた文書。旧尾張藩時代から引き継いだものや廃藩置県以後の記録も含まれている。名古屋藩における職制・藩制等の改革に関する一連の文書や新政府への報告書等がある。	195冊
愛知県庁文書 (明治5年～昭和初期)	明治5年(1872年)の愛知県の成立から昭和15年(1940年)までの文書。愛知県成立以前の尾張・三河の旧県庁からの引継文書も含まれている。草莽諸隊の士族復籍運動に関する文書や明治期の学務課文書などがある。	220冊
地籍図・地籍帳	明治16年(1883年)の内務省達乙第16号によるもので、明治17年(1884年)3月17日付け愛知県布達乙第44号に基づき各郡区戸長から提出されたもの。県内のほとんどの地域のものがある。 なお、地籍図・地籍帳とも、原本を保護するため複製図又はデジタルデータを利用に供している。	地籍図 2,208枚 地籍帳 2,424冊
郡役所文書	明治11年(1878年)から大正15年(1926年)まで設置された郡役所の文書。郡役所が廃止された後、県庁に引き継がれた文書と県事務所に引き継がれた文書がある。郡役所で管理されていた公文書以外の資料(尾張名所図会、信長記など)も含まれている。	349冊
徳川林政史研究所所蔵 「愛知県庁文書」等	主に幕末から明治前期にかけての愛知県成立期における本県の状況がわかる文書。旧藩書類、旧県々書類、学校願伺留、尾参士族名簿など各分野にわたる。	複製本 2,056冊
国文学研究資料館所蔵 「愛知県庁文書」	明治6年(1873年)から昭和初期にかけての本県に関する文書。共進品評博覧会一件、会社関係書類綴、貸下金決議留、北海道移住民一件など兵事、学事、商工、土木を中心とする。	複製本 2,404冊
水産資源研究所図書資料館所蔵「愛知県庁文書」	明治中期から大正にかけての本県に関する文書で、水産関係を中心とする。	複製本 78冊
国立公文書館所蔵 「愛知県史料」	内閣文庫が所蔵する「府県史料」のうちの本県分	複製本 23冊
古文書等	愛知県教育会等文書、宮脇家文書、大塚家文書、大脇家文書(寄託)など	4,681点

### 他機関所蔵「愛知県庁文書」について

昭和13年(1938年)、現在の県庁舎が竣工し、南武平町の旧庁舎から移転した際、多数の古い公文書が廃棄決定され、明治期の公文書の多くが財団法人尾張徳川黎明会(当時)に下附された。その一部が現在、公益財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館に所蔵されている。また、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所図書資料館には、水産関係の愛知県庁文書が所蔵されている。

本館では、これらの機関に所蔵されている愛知県庁文書を全てマイクロフィルムで撮影し、複製本を作成して利用に供している。

※ 徳川林政史研究所では、所蔵する愛知県庁文書を「旧名古屋税務監督局所蔵史料」として整理・公開している。

## II 愛知県公文書館の業務

### 1 公文書等の収集・整理

#### (1) 公文書

愛知県公文書館公文書等管理規程に定める選別基準により、廃棄予定文書の中から歴史的価値があると認められるものを収集している。

選別は、保存期間が満了する廃棄予定文書の中から本館だけで行っていたが、2012年度の完結文書からレコードスケジュール（※）を導入し、完結翌年度に、各所属（本庁各課及び地方機関、各種行政委員会等）において一次的な選別を行っている。

また、2018年度からは、レコードスケジュール導入以前の完結文書についても、保存期間満了時に所属が選別を行うこととし、所属と本館のダブルチェック体制としている。

選別後、収集した公文書は件名目次の作成、データ入力などの整理を行い、原則として事案の完結後30年を経過したものを順次利用に供している。

2022年度末現在で利用に供している公文書は、53,680冊・点である。

なお、本館に移管された公文書に関し、公開前に本館の所蔵資料（歴史的価値のある公文書）として適当であるかを改めて再選別（二次選別）し、所蔵資料から除外する作業を2013年度から実施している。これにより、2022年度には1,182冊を除外した。

#### （※）レコードスケジュール

行政機関の長が、行政文書の保存期間満了前のできる限り早い時期に、保存期間が満了したときの措置（歴史的価値のある文書に該当するものとして公文書館に移管するか又はそれ以外のものでして廃棄するか）を定めなければならないとする制度（公文書等の管理に関する法律第5条第5項）

#### (2) 刊行物等

県公報・官報、県の機関が作成した調査統計資料や報告書等の行政刊行物のほか、県内市町村や他機関等から寄贈のあった刊行物等を保存している。

収集した刊行物等は、データ入力などの整理を行った上で配架し、利用に供している。

#### (3) 古文書等

県と関わりのある歴史的価値のある古文書や私文書等の寄贈又は寄託を受けて保存している。

寄贈又は寄託を受けた古文書等は、目録データの作成などの整理を行った上で利用に供している。

#### (4) 旧公印

公印の改刻や組織改編などにより廃止された公印のうち、県印、知事印、地方機関印、地方機関の長印など一部の公印については、廃止後に公文書館に移管している。

#### (5) 県史収集資料

2020年3月に全58巻の刊行が完了した『愛知県史』の編さん事業の過程で収集した歴史資料（一部原本を含む。）約112万点が引き継がれ、マイクロフィルムのデジタル化、公開用目録の作成、原本所蔵者への許諾の手續等、公開に向けた整理作業を進めている。2022年度は、整理作業が終了した1,260点を公開した。

## 2022年度 公文書等収集状況

(単位：冊・点)

区 分		数 量	
公 文 書	知事部局（地方機関を含む。）	1,176	1,248
	行政委員会等（※）	72	
刊行物等	県公報・官報	0	697
	県の機関	415	
	その他	282	
古 文 書 等		8	
旧 公 印		3	
県史収集資料		14,188	
合 計		16,144	

（※）企業庁、病院事業庁及び議会を含む。

## 2 公文書等の保存

### (1) くん蒸・配架

収集した公文書等は、カビや虫害等を防ぐために、くん蒸処理を行った後、書庫に配架している。書庫内には除湿機を設置し、24時間湿度管理を行っている。

### (2) 複製物の作成

破損や汚損から原本を保護するため、必要に応じてマイクロフィルム等の複製物を作成し、利用に供している。

閲覧頻度の高い地籍図については、特殊プリント方式による複製化を行っている。

### (3) 資料の修復・保護

公文書を整理する際に、ステープラの針、クリップ等の金属類の除去、表紙の補修などの修復作業を行っている。

また、劣化の著しいものや古文書等については、資料を保護するため、中性紙の保存袋や保存箱に収納して保存している。

## 3 利用状況

年 度		1986～ 2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	累計
開館日数（日）		7,959	235	215	233	239	8,881
入館者数 （人）	一般利用	117,441	3,989	2,778	3,291	3,927	131,426
	行政利用	21,059	662	546	531	431	23,229
	計	138,500	4,651	3,324	3,822	4,358	154,655
	1日平均入館者数	17.4	19.8	15.5	16.4	18.2	17.4
利用冊数 （冊）	一般利用	172,420	5,219	5,100	4,725	5,405	192,869
	行政利用	99,879	3,586	1,857	1,811	1,694	108,827
	計	272,299	8,805	6,957	6,536	7,099	301,696
	1日平均利用冊数	34.2	37.5	32.4	28.1	29.7	34.0
複写利用枚数（枚）		534,014	17,595	19,208	18,092	16,622	605,531

### 2022年度 月別一般利用状況

月	開催日数（日）	入館者数（人）	利用冊数（冊・点）	複写利用枚数（枚）
4月	18	226	334	1,281
5月	19	263	392	1,675
6月	22	272	376	1,830
7月	20	270	473	1,822
8月	22	250	470	834
9月	20	238	424	1,403
10月	20	721	669	1,922
11月	23	753	688	1,538
12月	19	264	382	911
1月	18	222	266	796
2月	19	220	546	1,339
3月	19	228	385	1,271
合計	239	3,927	5,405	16,622

### 年度別・資料別一般利用状況

（単位：冊・巻・点）

区分		年度	1986～ 2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	累計
公文書	公文書		15,221	589	663	544	440	17,457
	地籍図・地籍帳		47,363	2,005	1,810	1,809	1,880	54,867
	他機関所蔵資料		39,209	568	665	356	436	41,234
	計		101,793	3,162	3,138	2,709	2,756	113,558
刊行物等	県公報・官報		14,216	106	264	217	99	14,902
	行政刊行物		36,179	923	659	522	944	39,227
	県史・市町村史誌		4,978	254	230	183	248	5,893
	参考図書等		15,254	774	641	829	745	18,243
	計		70,627	2,057	1,794	1,751	2,036	78,265
県史収集資料	紙 焼		0	0	138	139	301	578
	画 像		0	0	24	111	310	445
	写 真		0	0	6	15	2	23
	計		0	0	168	265	613	1,046
合 計			172,420	5,219	5,100	4,725	5,405	192,869

公文書館 Web サイトのアクセス件数（バーチャル文書館含む）

年度	2020年度	2021年度	2022年度
件数	89,665	101,507	99,596

所蔵資料検索システムのアクセス件数

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件数	30,602	74,197	67,023	94,777	86,091	89,763

#### 4 所蔵資料の展示

本館展示室では、資料の利用促進を図るために常設展と企画展に分けて所蔵資料の一部を展示している。

常設展では、「愛知県の成立」や「主な所蔵資料」の展示を行ったほか、ミニ展示として、愛知県政150周年に寄せて、本館所蔵の学務課文書などを用いて本県の教育行政の創始と特色を紹介する「愛知県政150周年 愛知県の教育行政のはじまり～小学校の設立を中心に～」などの展示を行った。

〔ミニ展示〕

期 間 2022年4月11日（月）～9月9日（金）

テーマ 「愛知県政150周年 愛知県の教育行政のはじまり～小学校の設立を中心に～」

期 間 2022年12月19日（月）～2023年6月30日（金）

テーマ 「寄贈資料紹介 明治初期の学校教育～伊藤為則関係資料～」

期 間 2022年12月19日（月）～2023年9月15日（金）

テーマ 「愛知県庁舎の変遷－移転と建築－」

企画展では、2022年は1872（明治5）年に愛知県が誕生してから150年を迎えることから、県政150周年記念として、「愛知県のはじまりと県庁のあゆみ」と題し、愛知県のはじまり、郡役所の設置と廃止、愛知県庁舎の変遷、「官選知事」から「公選知事」へ、の4つのテーマでたどりながら、愛知県の誕生から戦後までの歩みを、本館の所蔵資料などを用いて展示した。



〔第48回企画展〕

期 間 2022年10月3日（月）～12月2日（金）

テーマ 「県政150周年記念 愛知県のはじまりと県庁のあゆみ」

## 5 調査・研究

本館が所蔵する公文書等の内容、歴史等について調査・研究を行い、その成果を利用者からの問合せへの対応（レファレンス）や企画展の展示資料の解説などに使用している。また、機関誌の資料紹介コーナーに掲載して、利用者への情報提供を行っている。

なお、本館に複製本がある国文学研究資料館所蔵「愛知県庁文書」については、複製本2,404冊のうち、2022年度末現在、2,120冊の調査及び件名目次の作成が完了している。

## 6 機関誌の発行

愛知県公文書館を広報し、利用促進を図るため、『愛知県公文書館だより』を毎年度発行している。

その年度に実施した企画展を始めとする各種事業の概要や所蔵資料の紹介などを掲載しており、2022年度は、第27号（2023年2月1日）を発行した。

## 7 『愛知県史』等の販売

県史編さん事業の完了に伴い、2020年度から、『愛知県史』、『愛知県史研究』及び『愛知県史民俗調査報告書』の販売を本館において行っている。

## 8 その他

### (1) 所蔵資料検索システム

県民共有の知的資源である本館所蔵資料をより多くの方に利用していただくため、インターネットによる所蔵資料目録情報（簿冊・件名）の検索を行うことができる「所蔵資料検索システム」を2004年3月から運用し、2020年4月1日からは、画像データの閲覧もできる新「所蔵資料検索システム」を運用している。これにより、藩庁文書・県庁文書等、古文書等及び伊勢湾台風被害写真の一部の画像データが閲覧可能となっている。

また、「国立公文書館デジタルアーカイブ」の横断検索の対象となっている。

さらに、2020年12月23日から、整理作業が終了した県史収集資料の目録の公開をしており、一部の資料については画像データの閲覧が可能となっている。

### (2) デジタルデータ閲覧サービス

デジタルデータ化した地籍図・地籍帳、藩庁文書・県庁文書等、伊勢湾台風被害写真は、館内の検索用パソコンで閲覧できるようになっている。

そのうち地籍図については、現在の地名や地図、過去の地名から目的の場所を探して閲覧することができる「地籍図閲覧システム」を2005年度から運用している。

また、2020年12月23日から公開を開始した県史収集資料の一部及び古文書等の画像データについては、館内の画像閲覧専用パソコンで閲覧できるようになっている。

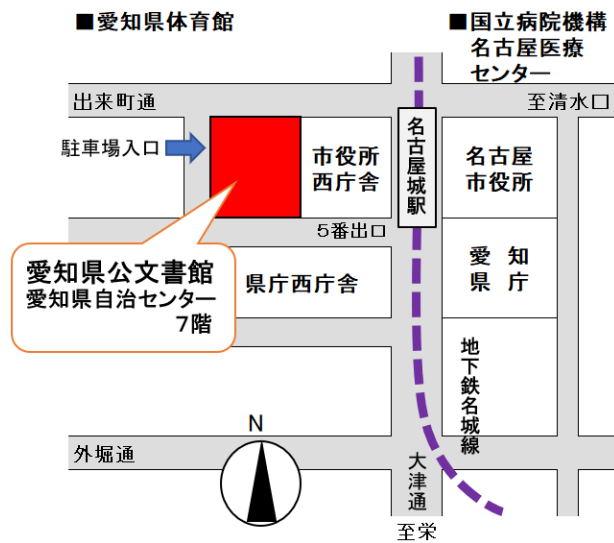
### (3) バーチャル文書館

2020年3月27日に、公文書館 Web サイトのリニューアルに併せて「バーチャル文書館」を開設した。

「バーチャル文書館」では、県史収集資料の一部を解説文とともに紹介するほか、過去の企画展の展示物を紹介するデジタル展示室や、古文書の解読に挑戦できる古文書講座などを掲載している。

## 《利用案内》

- 1 開館時間 午前9時～午後5時
- 2 休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日  
年末年始（12月28日～1月4日）  
整理期間（春季10日以内）
- 3 複写 有料 ※一部、複写できない資料もあります。
- 4 展示 展示室において所蔵資料を中心とした展示を行っています。



地下鉄名城線「名古屋城」下車 5番出口  
市バス・名鉄バス（基幹バス）「市役所」下車

愛知県公文書館年報 第37号 2023年度  
2023年7月発行

発行 愛知県公文書館  
〒460-0001  
名古屋市中区三の丸二丁目3番2号  
愛知県自治センター内  
Tel 052-954-6025（ダイヤルイン）  
Fax 052-954-6902

URL <https://kobunshokan.pref.aichi.jp/>  
E-mail [kobunshokan@pref.aichi.lg.jp](mailto:kobunshokan@pref.aichi.lg.jp)